

カウンセラー だより

☆ 第11号 ☆ 令和3年2月 発行



宍粟市立千種中学校
スクールカウンセラー
有賀 大輔

千種中学校の皆さん、こんにちは。コロナ禍における様々な対策のための“新しい生活様式”が昨年春から開始され、はや年度の終わりが見えてくる時期になりました。今後も自分や大切な人を守るため、気を引き締め、一緒に頑張りましょう。

さて、昨年12月に兵庫県教育委員会が『新型コロナウイルス感染症の影響に関する心のケアアンケート第2回調査』の結果を掲載しています。今回は、その中からいくつかのデータを紹介したいと思います。

『心のケアアンケート第2回調査結果』から

今回は、『新型コロナウイルス感染症の影響に関する心のケアアンケート第2回調査結果』から、“保護者と児童生徒との間に認識の差が見られる”という結果を示した2つのデータを紹介します。

1つ目は、「むしゃくしゃしたり、イライラしたり、かっとなったりすることがあるか」という質問で、「非常にある（ほぼ毎日）」「かなりある（3～5日）」と回答した児童生徒の割合が、小学校低学年21.6%、高学年20.6%、中学校15.9%であるのに対し、保護者は、小学校低学年10.6%、高学年12.0%、中学校10.0%でした。この結果は、よくイライラしたりしている児童生徒が、保護者が思っているよりも多いという結果を示しています。2つ目は、「困ったことがあったとき、人に助けを求める」という質問で、「あてはまらない」と回答した児童生徒の割合が、小学校低学年9.7%、高学年8.6%、中学校6.6%であるのに対し、保護者は、小学校低学年1.2%、高学年1.8%、中学校2.6%でした。この結果は、人に助けを求めない（求められない）と思っている児童生徒が、保護者が思っているよりも多いという結果を示しています。

新型コロナウイルスは、その感染拡大防止のために、3密回避、ソーシャルディスタンス、飛沫予防など、様々な人との“分断”をもたらしました。私たちは、このコロナ禍において、気持ちや想いで人と“つながり”、助け合い、支え合いながら、厳しい状況を乗り越えていきたいと思えます。周りには頼りになる人たちがたくさんいます。力を合わせて一緒に頑張りましょう。

スクールカウンセラーの来校日



原則金曜日（※ 来校していない週もあります）

午前10時 ～ 午後5時まで（最終の相談は午後4時～）

※ 来校時間の変更があればお知らせします。

予約の受付は、千種中学校にお電話いただくか、担任の先生までお願いします。

宍粟市立千種中学校（TEL:0790-76-2003）